

## 人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（血液など）や診療情報（カルテの情報）をこの研究に使うてほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

<p>試料・情報の利用 目的及び利用方 法</p>	<p>●研究の名称 脳疾患 FDG-PET 画像を用いた撮像プロトコルの違いによる統計画像解析への影響</p> <p>●研究の対象 2025 年 12 月 31 日までの PET 認知症検診 FDG コース受診者</p> <p>●研究の目的 脳の PET 画像を用いた統計学的脳機能画像解析と呼ばれる解析法は認知症の診断に非常に有効です。しかし、PET 画像は撮影方法や機器によって画質が変わることが知られています。一方、先行研究では短時間で撮像した脳 PET 画像と従来の撮影時間で撮像した画像の比較ではアルツハイマー病の診断において、どちらの方法も同等の精度であることがわかりました。また、健常者を対象に実施した研究では、従来の方法で撮影した脳の PET 画像と全身の PET 画像から脳部分だけを抽出した画像を比較した結果、両方の画像の差は非常に小さく全身の PET 画像から脳部分を切り取っても脳機能解析に使用可能であることが示唆されました。これらの研究をさらに進めるため様々な脳の状態にある認知症 FDG コースを受診された方の PET 画像を用いて統計学的脳機能解析結果を検証することで検査プロトコルの影響を調査することを目的としています。</p> <p>●研究の期間 倫理委員会承認日から 2027 年 3 月 31 日まで</p> <p>●他の機関に提供する場合には、その方法 共同研究機関へのデータの提供は、記憶媒体（DVD）に保存し、データ引き渡しを行います。記憶媒体に保存する</p>
-----------------------------------	---

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

	<p>場合には、個人を特定する情報は削除し、パスワードをかけ、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、浜松 PET 診断センターの個人情報管理者が保管・管理します。</p>
<p>利用し、又は提供する試料・情報の項目</p>	<p>●研究に使用する試料・情報： 浜松PET診断センターで得られた生理指標データ、身体計測データ、各種データに関する所見・コメントや問診結果などを含めた受診者情報および画像データ（PET、CT、MRI）</p>
<p>利用する者の範囲</p>	<p>●共同研究機関の名称及び研究責任者 1)浜松 PET 診断センター 尾内康臣 2)浜松ホトニクス株式会社グローバル・ストラテジック・チャレンジ・センター（GSCC） 岡田裕之</p>
<p>試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称</p>	<p>●研究責任者 浜松光医学財団 浜松 PET 診断センター 尾内康臣</p>
<p>試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）</p>	<p>あなたの試料または情報を研究に使用することや、あなたの試料または情報を他の研究機関に提供することを望まない場合には、所定の手続きにより、いつでも使用や提供を停止することができます。手続き方法は、お問い合わせください。</p>
<p>資料の入手または閲覧</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたもしくは代諾者のご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたもしくは代諾者があなたの研究結果を知りたいと希望される場合は、問い合わせ先にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>
<p>情報の開示</p>	<p>あなたもしくは代諾者が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示致しません。</p>

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

問い合わせ先	浜松PET診断センター 診療放射線技師長代理 佐野由 高 053-584-6581（財団業務日 8:30～17:30）
--------	---